

お茶の水女子大学中国文学会

# 三十周年記念号

一九八一年（昭和五十六年）に発足したお茶の水女子大学中国文学会は、本年をもって三十周年を迎える。この節目の時にあたり、本会の創設に携わり尽力された方々、ならびにその維持に多大な協力をいただいた方々に、あらためて謝意を表したい。

ふりかえりみれば、わたしたちには二つの大きな目的があつた。ひとつは、お茶の水女子大学に学び、ここを巣立とうとする研究者に、その研究成果を発表する機会を与えること。いまひとつは、ここに発表される成果が、世に問うにあたいする水準を保ち、斯学の発展に寄与するものとなることである。

創設以来三十年を経た今もこの目的は不変である。会のあり方、そして会誌のあり方が、この目的に照らしてみるとき、それにふさわしいものとなっているどうかは、常に問われ続けなければならない。

三十年という時間の経過は、会の歩みにいくばくかの安定感をもたらしたであろう。それと同時に、一定の形式に安住して怠惰な反復に陥ってしまう危険に対しても、鈍感であつてはならないと考える。

会の運営と会誌の編集に携わるわたしたちが、このことについてまず責任を負わな

ければいけない。そしてまた会員諸氏におかれても、これまで以上に本会に関心を寄せられ、積極的な協力を惜しまれないことを切望する。

二〇一一年四月      お茶の水女子大学中国文学会三十周年記念号準備委員会

会 長      和田 英 信

委員長      平 石 淑 子

委 員      安 藤 好 恵

今 井 佳 子

阪 本 ち づ み

佐 藤 普 美 子

保 坂 律 子

宮 尾 正 樹

宮 本 め ぐ み